

船舶事故調査報告書

令和元年7月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成30年11月19日 15時10分ごろ
発生場所	山口県宇部港 宇部港西防波堤灯台から真方位188° 2.7海里付近 (概位 北緯33° 53.6′ 東経131° 13.4′)
事故の概要	漁船 <sup>こうふ</sup> 広布丸は、北北東進中、錨泊中のケミカルタンカー <sup>フライン</sup> FINE HANAに衝突した。
事故調査の経過	平成30年11月21日、主管調査官（門司事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A ケミカルタンカー FINE HANA（大韓民国籍）、492トン 8713952（IMO番号）、HANA MARINE CO.LTD B 漁船 広布丸、4.8トン YG3-52350（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A（大韓民国籍）、免状不詳 航海士A（インドネシア共和国籍）、免状不詳 B 船長B、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A 右舷船尾部外板に擦過傷 B 左舷船首部外板に凹損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	A船は、船長Aほか10人が乗り組み、船首を北方に向けて錨泊中、航海士Aが船橋で海図の整理を行っていたところ、B船が衝突した。 B船は、船長Bが1人で乗り組み、約6ノットの対地速力で北北東進中、船長Bが後部甲板に立った状態で漁獲物の選別作業に意識を向けていたところ、A船に衝突した。
分析	A船は、錨泊中、B船が衝突したものと考えられる。 B船は、北北東進中、船長Bが、後部甲板で漁獲物の選別作業を行いながら航行を続けたことから、前路で錨泊中のA船に気付かず、A船に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、B船が、北北東進中、船長Bが、後部甲板で漁獲物の選別作業を行いながら航行を続けたため、前路で錨泊中のA船に気付かず、A船に衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・航行中は、漁獲物の選別作業などを極力控え、他船を見落とさないよう周囲の適切な見張りを行うこと。</li></ul> |
|--|--|